

こんにちは、SSH 推進委員会です。SSHNEWS の第 10 号となる今回は **10月21日(木)に行われた富田林高校の探究Ⅰの中間発表会の様子**と今年度に新しくできた**国際コースの取り組み**を紹介します！**人文科学・社会科学探究、自然科学探究**は各班や各ゼミごとに分かれてそれぞれ発表を行いました。**発表後の質疑応答も活発に行われ、白熱した議論が展開されている様子が印象的でした。国際コースは現在フィリピン・ネパールの高校とオンラインで交流を行っています。**また、12月19日（日）に行われる大阪サイエンスディ 2 部の発表班が決定しました。富田林高校 2 年生の探究Ⅱの班の**数学のフェルマーの最終定理班、物理の免震構造班、生物のマミスクラゲ班**です！！**富田林高校は過去3年間最優秀賞を取っていて、今年最優秀賞を受賞できると4連覇になります！**頑張ってください！

10月21日(木) 富田林高校の探究Ⅰの中間発表会の様子(自然科学探究)

探究Ⅰの自然科学探究は数学班3班、物理班5班、化学班9班、生物班10班の合計27班に分かれています。水質調査をしている班や、フィボナッчи数列を自分たちなりに解析している班など各班、多種多様な探究を行っています。パワーポイントを用いて、図や表を適切に使用しながら、自分たちの言葉で説明している様子が印象的でした。質疑応答では、『何と何を比べた対照実験なのか？』といった実験の内容を深く掘り下げたようなものも見られました。質疑応答で出てきた意見やまだまだ実験できていないこともたくさんあると思います。頑張っていきましょう！



10月21日(木) 富田林高校の探究Ⅰの中間発表会の様子(人文科学・社会科学探究)

探究Ⅰの人文科学・社会科学探究は、まちづくりゼミ、教育ゼミ、人間関係ゼミ、エンタメゼミの5つのゼミに分かれて、一人一人が探究をしています。学年にアンケートを取ったり、富田林市役所に『少子化について』や『富田林の商店街について』というインタビューをしに行ったりと、それぞれが積極的に考え、行動をしている姿が見られています。中間発表では、今までの探究活動の蓄積をパワーポイントなどを用いて、うまく発表できていたと思います。これから1人1本の論文を執筆することになります。できることを自分たちでしっかり考えながら、残りの数か月、精一杯頑張っていきましょう。

富田林高校の探究Ⅰの様子(国際交流)

探究Ⅰの国際コースでは、『国際社会の中で私たちにできることは？』という大テーマのもと、グループでの研究に取り組んでいます。貧困や男女格差、ジュエンダーなどの問題について、グローバルな視点で探究を行っています。また、今年度はフィリピン・ネパールの高校とオンライン上での交流も行っています。お互いの国、学校そして研究内容について、定期的に情報交換を行い、年度末の発表に向けて準備を進めています。

各種案内も来ています！ 1階アクアリウム前の掲示板に掲載していますのでぜひ見てみてください。

- ・大阪市立大学市民セミナー『21世紀の物理学』
- ・大阪サイエンスディ 2 部
- ・選ぶ！私たちの未来とエネルギー

各種案内の二次元コードはこちら⇒